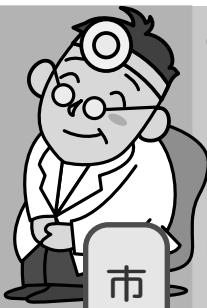


●市立病院外来診療日程●

○…午前・午後とも診療
▲…午前のみ診療
△…午前第4週の午後診療
×…休診

内 科	整 形 外 科	外 科	産 婦 人 科	皮 膚	泌 尿 器 科	耳 鼻 咽 喉 科	小 兒 科	眼 科	月
○	□	○	休 診	×	△	×	○	×	月
○	△	△		△	△	△	○	○	火
○	▲	△		×	□	×	△	○	水
○	×	○		×	△	×	○	×	木
○	△	△		×	△	△	○	○	金

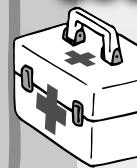
市立病院の診療日程



医

療

コ ー ナ ー



午 後			午 前			再 来 受 診 機			平 日 の 受 付 時 間
15時00分～16時00分	13時00分～15時00分	13時00分～16時00分	13時00分～15時30分	7時45分～11時00分	7時45分～11時30分	全科	整形外科(金)	整形外科	泌尿器科 内科・外科・眼科 小児科

※初診の方、及び診療券(カード)をお忘れの方の受付は8時からです。土曜日、日曜日、祝日は休診です。

名科外来診療日程の変更について

★泌尿器科

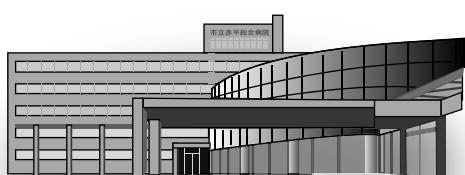
1月19日(火)の泌尿器科外来診療は休診となります。

受診時に、お薬手帳をご持参ください!

当院受診時には、お薬手帳を持参してください。医師・薬剤師がお薬手帳の記録をチェックし、薬の飲みあわせや副作用、同じ薬が重複して処方されていないかを防ぐことができます。

市立病院スタッフ募集のお知らせ

- ◆募集職種及び人員 ◆嘱託職員の登録
 - ・薬剤師…1名
 - ・看護師…随時
- ◆臨時職員の登録
 - ・看護助手、事務補助…随時



問合せ

市立赤平総合病院管理課 32-3211(内線406)

1月	病・医院名	休 日 診 療
31日(日)	砂川ファミリー歯科(砂川市) 54-2020	
24日(日)	神山歯科医院(赤平市) 32-2575	
17日(日)	安岡歯科医院(滝川市) 22-0285	
11日(祝)	あさひ歯科クリニック(滝川市) 22-0033	
10日(日)	よじもと歯科医院(芦別市) 22-4618	
3日(年始)	小西歯科医院(芦別市) 0124-230102	
2日(年始)	赤平ファミリー歯科クリニック(赤平市) 32-4884	
1日(年始)	土山歯科医院(芦別市) 0124-223145	

改革プランの評価について

市立赤平総合病院は半世紀以上にわたり地域の中核医療施設、また、公立病院としての役割を担つてきました。人口の急激な減少に加え、医師・看護師不足による入院・外来患者の診療抑制、診療報酬のマイナス改定や医療制度改革など、医業収益の減収が続き、激変する医療環境の中、多額の不良債務を抱え、極めて厳しい経営状況におかれています。このような中、「市立赤平総合病院改革プラン」は、平成20年1月、市民と行政による「これから市立赤平総合病院の方を考へる検討会議」を設置し、市民の病院に向けた様々な意見、要望を取り入れながら、同年12月策定に至りました。

また、改革プランにおいては実施状況の点検・評価を年一回行うこととし、この度「市立赤平総合病院改革プラン評価委員会」を設置し、点検・評価のまとめを行いました。

收支状況について

画に対し大幅なかい離が生じて
いるといわざるを得ません。

総体的には各項目についての
取り組みや改善努力は伺えるも
のの収支の改善につきましては
最も厳しい状況におかれている
と考えられます。

不良債務は一般会計からの
繰出し基準充当分及び平成19年
度より実施の不良債務解消分と
しての繰入れ(1・5億円)等、計
画的な繰入れが実施されていま
すが、平成20年度病院事業会計
における不良債務残高について
は、一般会計からの不良債務解
消分としてさらなる計画外繰入
度分)を行つての数値であり、計

画に対する大幅なかい離が生じて
いるといわざるを得ません。
主な要因は、医業収益の目標
となつてある入院患者数の確保
に至つていないことと、外来患
者数が今年度に入り内科の午
後外来診療を開け、さらに人
工透析については透析PR委員
会の設置により、無料の送迎
サービスを実施するなどの取り
組みが行われていて、計
画人数の確保には至つておらず、
収益が計画額を大きく下回る状
況であることが上げられます。

医師・看護師等の確保

医師については兼ねてからの
課題であった住環境の整備に取
り組み、家具等の提供による多
くの市民の協力をいただき、
平成20年度は既存の集合住宅2

離が発生しており、今年度の上
半期の収支及び入外患者数の状
況から見ても、改革プランに明
示される平成23年度における經
常損益の黒字化や平成27年度ま
での不良債務全額解消には極め
て厳しい状況となっています。

しかし、地域における公立病
院としての役割と患者サービス
の向上・確保を最優先として努
力して行くべきと考えます。
また、後期臨床研修医の受け
入れは実現していないものの初期
臨床研修医については、ここ数
年、定員を確保できている状況
であります。が、新たな研修医の
確保に向けたプレゼンテーション
等への参加を引き続き実施して
いくことが必要と考えられます。

医療・福祉・介護・保健の連携

地域医療科を中心とした訪問
診療・看護による在宅支援は一
定の成果を上げてきています。
また、各種健診(検診)事業、保
健指導、市民健康講座において
は、医師や市介護健康推進課な
ど関係機関の協力により、市民
の健康増進と患者の確保という
観点からの充実は顕著であります。今後も、福祉・介護・保健部門
との連携の強化や包括的で継続
的な医療を提供できる仕組みの

棟を改築し、今年度には新築の
集合住宅(1棟6戸)も完成し、
住環境整備においては、医師の
確保に対し大きな成果が得られ
るものと考えます。

患者サービスの向上

患者サービスにおいては、業
務・サービス向上委員会を設置
し、接遇の改善に積極的に取り
組み、一方で市民ボランティア
の協力を得て、タオル折りや
草刈作業、さらには院内の案内・
サポートを開始するなど、市民
一体となって院内の活性化に向
けての努力が見受けられます。

が予想されることから、その際
の迅速な対応が求められます。

構築に努力を続ける必要があります。

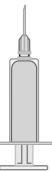
再編・ネットワーク機能の強化

今後は、さらに北海道、保健所、近隣自治体病院との協議のもと自治体病院等

他の医療機関との連携については、既に砂川市立病院との脳神経外科における地域医療連携クリティカルバスの実施や整形外科医・泌尿器科医の派遣を行つていただき、その他、検査委託や赤平市医師会においては、

救急当番医のご協力をいたゞくなど、市内外における連携が実施されています。

評価のまとめ



経営改善▼21年度決算見込では、人件費を含め諸経費を削減し、経常利益を予算より向上させている病院の努力は評価できる。収支の適切な見直しには、病院の内部がしつかりとわかる代表責任者の配置が必要である。

医師看護師確保▼期待通りの新規確保が進まず、収入増となついたため、諸経費の支出抑制、削減が必須である。他地域の病院と連携をしながら、さらなる医師確保に努力してほしい。

接遇・人材育成▼看護師のメンタルケアを重視し、院内の人材育成を大切にして欲しい。他市を参考にすることや民間企業的な発想も取り入れ、サービスの向上に努めてほしい。

広域化・連携構想の方向性を視野に入れ、再編ネットワーク機能の強化のため検討を進めていく必要があると考えます。

情報発信▼病院の情報がわかりづらい。興味を持てるような情報発信が大切である。

院内環境▼外来の待ち時間が短縮できるよう科の分担などをさらに効率よく行い、院内の連携をとつてほしい。リラックスタブルな院内環境の整備も検討してほしい。

総評▼改革プランの評価における総評として、本年度中に策定される「経営健全化計画」においては、地域における市立赤平総合病院の役割を改めて明確にし、さらなる実現性の高い収支計画と適正な経営形態について、協議・検討を重ね策定すべきであるとともに、改めて、注意深く点検・評価を重ねる必要があると思います。

ノロウイルスにご注意を！

感染症情報



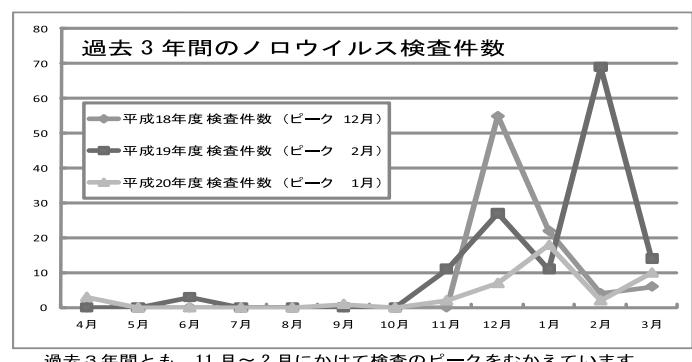
新たな医師住宅が完成しました

これまで、市立赤平総合病院では、医師の確保・定住に向け、「市立病院観察ツアーアー」の実施や札幌市立大学の学生がデザインした医師募集ポスターによるPR活動など、様々な取組みを行うとともに、ボランティア活動

住宅の整備について、昨年、集合住宅の改修工事を実施いたしましたが、この度、新たに1棟6戸の集合住宅が完成しました。この集合住宅は国からの地域活性化・生活対策臨時交付金1億1千万円を活用し、市の財政的的な持ち出しの伴わない中で建設されたものであります。これが機に今後も安定した医師の確保・医療の提供に向け、引き続き努力を重ねてまいります。

ノロウイルスなどの感染性胃腸炎は、例年冬季に流行し、特に11月から2月にかけてピークを迎えます。10～100個の少ないウイルスで発症するため、集団感染の恐れもあるウイルスです。今シーズンも12月に入つて検査件数が増えてきており、陽性患者もでています。

手洗いや食品の十分な加熱といった予防の徹底。また、感染者も気をつけましょう！



過去3年間とも、11月～2月にかけて検査のピークをむかえています。